



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2010~2011)

・国際協会会長 『Once More We Stand「心新たに立ち上がろう」』

藤井 寛敏 (東日本区 東京江東クラブ)
スローガン 「Build a Bridge to the Future」
「明日《あす》への橋を架けよう」

・アジア地域会長 『Once More We Stand「心新たに立ち上がろう」』

高田 和彦 (東日本区 横浜クラブ)

・西日本区理事 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』

「Forward with Y's men's spirit in our hearts」
副題 "Let's meet challenges with calmness"
仁科 保雄 (京都キャピタルワイズメンズクラブ)

・六甲部 部長 『Show Y' scare, Sow the seed of Y' s』

安行 英文 (さんだクラブ) 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」

・西宮クラブ 会長 馬場 一郎 『交わりを大切に、クラブ・ライフをエンジョイしよう!』

Let's enjoy our club life through good friendship!

2010年7月
746号 60周年
64期-1
since 1948. 5. 17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

- 会 長 馬場 一郎
- 直前会長 浅野 純一
- 副 会 長 清水 彬久
- 書 記 廣瀬 一雄
- 書 記 阪根 新
- 会 計 岩田 健司
- 会 計 足立 康幸
- 監 事 藤原 百合子
- 担当主事 三島 浩司
- 六甲部監事 山口 政紀
- 部広報主査 浅野 純一
- 次期交流主任 廣瀬 一雄

2010年7月 西日本区強調ポイント "Kick-off・EMC-C" 意識をもって活動に参加しよう。自己の成長と共に
クラブの求心力を高めよう!

新山 兼司 EMC事業主任 (京都トップスクラブ)

2010年7月第1例会のご案内

日時: 2010年7月23日(金) 19時~21時

場所: 西宮YMCA保育園3F

ドライバー: 岡田祐一郎メン 浅野純一メン

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介 安行 英文六甲部長
5. 会長・役員引き継ぎ式 浅野会長→馬場新会長
6. 食前の感謝&会食
7. 計画計画・予算及び決算 質疑応答と審議
8. 誕生日のお祝い 一同
9. Y's ニュース・お知らせ 馬場新会長
10. YMCA 報告 三島主事
11. 閉会点鐘 馬場会長

あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、
いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。
人の子は仕えられるためではなく仕えられるために、
また、多くの人の身代金として自分のいのちを捧げるため
に来たのである。(マルコによる福音書10:43~45)

6月 例会出席状況	在籍会員数	19名
第1例会(6. 18金)	第2例会(6. 4金)	
メ ン 14名	メ ン	8名
メネット・ゲスト0名	メネット	0名
合計14名 (出席率84. 2%)	合計	8名

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

7/8 岩田 成子 メネット

7/16 濱崎 保津美メネット

7/20 藤原 百合子メン

西日本区強調月間リスト Kick-off・EMC-C

EMC Extention Membership & Conservation

ご覧ください。URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ 馬場 一郎 会長

この度、伝統ある西宮ワイズメンズクラブの会長をさせていただきます。引継ぎが近づくにつれて、受けてよかつたんだろうかと不安になってきています。昨年5月か6月に浅野前会長から電話をもらい、私自身の仕事の方も2010年度の異動が決まっていたので、実質お役に立てないかなと思ひ、いったんはお断りした経緯があります。結果としては、いろいろな事情もあり、お受けすることになりましたので、私のできる範囲でお役に立ちたいなあとと思っています。

といってもあまり大きなことは考えていません。まずクラブの皆さんが、参加したくなる例会作りをしたい、そして楽しく知り、学び、交わり、結果として西宮クラブのこれからを考えるきっかけになれば、大変嬉しいと思っています。やっぱりワイズの中心は、「楽しい交わり」ですよね。私自身もその交わりの中で、いろいろ学んだし、また助けてもらいました。その一点はずしたくないですね。

私は担当主事としての経験はあるんですが、何もわからず在籍していましたのでクラブ運営のなんたるかを分かっていません。どうぞ皆さんのご支援とご協力を(全面的に)いただきますようによろしくお願いします。

6月 例会 報告

ドライバー 岩田 健司メン
山本 常雄メン

本年度最後の例会は6月18日に西宮YMCA保育園3Fホールにて開催され、岩田メンの司会のもと、浅野会長の評価、山本会計の決算見込み、続いて馬場次期会長の活動計画、足立次期会計の次年度予算案の説明が行なわれました。浅野会長はこの1年の活動を1枚のリーフレットに纏められ、毎月のご苦勞を思い出しながら、会長標語『力を合わせて今一步奉仕活動への取り組みを深めよう』との会長方針に対し、諸活動に着実に取り込めたこと、前年に続き3名の

退会者を出したものの、若いキーメンバーの入会はこのクラブが過渡期にあることを強調され、ここからの一踏ん張りがクラブの大きな発展に繋がるとのメッセージをもって馬場次期会長へエールを贈られた。入会后3年にして会長の重職を担われ、無我夢中でリーダーシップを発揮され、全うされた浅野会長に出席者全員の感謝の拍手が贈られ、浅野会長にやっと安堵の笑みがこぼれた。次に山本会計より、大会等参加補助金案が提示され承認された後、決算書(案)が提示され、収支バランスが健全に保たれている旨説明があった。続いて馬場次期会長による次年度の活動方針・計画が発表され、特に次期は、子供の課題、地域の課題を深め、その上でワイズやYMCAの活動の課題を見出して行きたいとの決意が述べられ、また次年度クラブキャビネット・各事業担当・年間ドライバー各案とともに承認されました。次に足立次期会計により前記活動を支える財政としての次期予算(案)が示され承認されました。出席者は浅野会長始め足立・岩田・岡田・小野・阪根・堤・長井・馬場(一)・馬場(貴)・濱・広瀬・三島・山本各メンでした。」

西日本区大会に参加して

浅野 純一メン

6月12日～13日に広島市で行われた大会に参加しました。西日本区大会への参加ははじめてです。広島での開催は鈴木理事の「平和への強い願い」の現れであるとお聞きしました。秋葉広島市長を主来賓にお迎えし、ワイズメンズクラブに対する平和実現への貢献が期待を感じました。

現在の世界は、北朝鮮の韓国哨戒艦爆破事件、中国の軍事力の強大化、またイスラム過激集団のテロ事件など、国際平和を脅かすできごとが起こって

ます。わたしたちの行えることはわずかなことですが、一人ひとりが国際政治に関心を持たなければと思いました。また同時に私の周辺でも対立があります。その対立を国際政治を語ると同時に考えを及ぼさなければならぬと思います。国際政治の対立は私たちの生活上の対立の延長線上にあるからです。

ところで、私にとっての最大の仕事はバナーセレモニーと代議員会への参加です。バナーセレモニーはなかなか素晴らしい行事であると感じました。今度は客席からながめてみたいものです。代議員会は、会計の側面で少し質問がありましたが、問題なく終了しました。このような大会に出席することでワイズメンズクラブには多くの仲間がいることを実感しました。リーガロイヤルホテルの大宴会場が満員になった夕食会はとくにそれを感じました。参加されたメンバーの皆さんご苦労様でした。とくに前日からDBCの広島クラブを応援するために準備から参加されたメン、メネットの方々ご苦労様でした。最後にこの大会開催をされた広島の方々にお礼を申し上げます。



前夜祭会場の市立美術館での懇親会風景



近江八幡クラブ 浅岡徹夫メン



西宮クラブの皆様、こんにちは。近江八幡クラブの浅岡です。今年の西日本区大会では、西宮、広島、近江八幡の三クラブが広島で DBC 合同例会を開催しきれいなお庭を前に大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回の西日本区大会は広島クラブを中心に西中国部がホストとなって開催され、兄弟クラブとして西宮と近江八幡も少しお手伝いさせていただきましたが、大会が成功裡に終了出来たことを本当に良かったと思っていますし、誇りに感じています。

早いものでこの7月からワイズメンズクラブの新しい年度に突入し、私自身も何時の間にか次期理事の肩書きで呼ばれることになり戸惑っている所です。これまでワイズで十分な働きが出来ていない私のような者が、まさかその様な大役を担うことになるとは夢にも考えていませんでしたが、びわこ部から次次期理事を選出せざるを得ない状況下で推薦を受け、苦渋の選択として昨年末にお引き受けすることを決断しました。理事を輩出するのに近江八幡クラブは、決して大きなクラブと言えないですが、そのメンバーからの温かい支えを得、びわこ部7つのクラブの支援を得て今回お引き受けさせて頂く事になりました。しかしながらこれから西日本区理事として活動するのに分らないことがいろいろあり、本当にうまく出来るのか不安な気持ちで一杯なのが正直な所です。

今回理事のキャビネットは近江八幡を中心にびわこ部から出て頂きましたが、交流事業主任は西宮クラブの廣瀬ワイズにお願いし、Yサ・ユース事業主任には広島クラブの

藤川ワイズにお願いしました。西宮クラブと広島クラブの皆様にはぜひともこれからもいろいろとお支え頂きたくよろしくお願いします。

また何かご意見やご要望がありましたら、ご遠慮なく浅岡または安田ワイズ（事務局長）または坂井ワイズ（西日本区書記）までご連絡ください。

西日本区だより-15

《号外第1版》

小野勅紘西日本区理事事務局スタッフ

「折りづるラン」第6便



6月12日早朝の献花(国際書記・東日本区・西日本区)

2009-2010年度広島での西日本区大会は歴史に残る素晴らしい大会になりました。いかにも頼りないキャビネットに反して、広島西日本区大会実行委員会の皆さんは自身で「本当にこれで一つになれた」と言われる通りの活躍であった。第12回熊本大会のような派手さはなかったが、西日本区理事の「すべてのいのちを大切に—いのち・平和・環境—」というテーマを見事に実現してくれたのだ。

少数精鋭とはこういうのを言うのであろうかと思われるほど弱小(失礼)クラブや部でありながら、全てのメンバーがそれぞれのタラントを発揮しての自分の持場、立場を守った成果であろう。分刻みに練られたプログラムは何度も変更が加えられていった。情熱あふれ手際

のいい渡邊事務局長が赤羽実行委員長を守り立て、更に経験は浅いのに父親譲りの緻密さを発揮する益国君とのコンビネーションであろうか。常に変更が加えられても底辺を流れる大きな川であるクリティカル・パス(計画を進める上で最も危険な部分)をしっかり抑えていてこなしに行けるという揺ぎ無い自信があったからであろう。

大会のプロローグは広島市立美術館というお洒落な会場でのガーデンパーティーから始った。沈



前夜祭会場の市立美術館にゴールの「折りづるランナー」たち

み行くような夜の帳が青い晴天を染めていくしじまの中で、いよいよ「折りづるラン」のクライマックスを迎えた。広島YMCAをスタートした折りづるランナー大野勉さんが1.17神戸から339キロの歩を進めてここに無事ゴールを迎えました。

リハーサルから始り、前夜祭でのゴルフ表彰のパフォーマンス、大会会場に据えられた10万羽の「折りづる」を羽織った2羽の「折りづるみこし」はあるときは青く、あるときは赤く、また白く輝いていた。ステイブン・リーパー氏をして「これほど多くの千羽鶴は初めて見た」と。

時間に追われながらこなしに行った表彰式と引継式、終わってみれば何と30分の遅れを、10分の遅れまで挽回していた。理事はその間DBC、理事挨拶、お客様の送迎と巡り走りまわった。練習では何度ダメだしをしても合わなかった、リジョン旗の入場

行進(理事・書記・会計)が本番でピタリと合っていたのには驚いた。

1日でこなしたので逆に皮肉なことに、翌日の聖日礼拝は超満員であった。かつて西日本区大会でこのように満杯の聖日礼拝を見たことがない。違った怪我の功名であろうか。また「I PRAY」の内容が素晴らしいものであった。原爆に打ち拉がれた子供たちが見事に立ち上がるというミュージカルである。多くの出席者のハートを打ったのは間違いのないであろう。この「I PRAY」は映像として横浜国際大会で上映されるとのこと。生であったらもっと素晴らしいものになるかと思われる。



広島国際会議場での大会(舞台の両翼に2羽の折りづる)

我々は解散後も「広島・近江八幡・西宮」3クラブ合同例会で、これまた素晴らしい山全体が200万本のつつじの庭園になっている金井邸の「半べえ」での懇親会。広島のIBCでもあるハワイ西オアフクラブの皆さんも入れて大いに盛り上がりました。その後最後実行委員会とキャビネットで打上げ会を持って帰阪の途に着いた。大阪にはもう12時近くになっていた。

次回西宮クラブが幹事となった時、こんなにうまく出来るのであろうか心配になってきた。要はどれだけ多くのタレントがあるかではなく、そのタレントが持場、立場を守って、しっかりその能力を発揮出来るかどうかである。広島の皆さんお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

(蛇足)

3クラブ合同例会で、案内してやるということで山野進メンについて行ったらお店はお好み焼き「徳べえ」。あれ一確か「半べえ」って言ってけど変わったのかと思っていたらそこは「ペンタゴン」の「ウェスト連合」のDBC会場であった。お粗末の1件でした。トホホ……。そういえば山野メンは広島クラブではなく広島西クラブだったのだ。

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 ほんだ あつこ 本田 敦子さん

ワイズメンズクラブの皆さん、いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。2010年度が始まり3ヵ月が経ちましたが、今もまだ新しいリーダーが見学や例会に来てくれ、リーダー会は活気であふれており、新鮮で新たな発想がたくさん生まれています。

6月の活動は、ピーターパン(小学生)は、6月6日に晴れだったため武田尾に廃線ハイクをしに行きました。子ども達は線路を見て楽しそうに走り出し、電車クイズをしながら歩きました。トンネルの中を触ると冷たいなど日ごろ体験できない事をたくさんして新たな発見を嬉しそうに楽しんでいました。近くにある川にも遊びに行き充実した1日を過ごし満足していました。

エルマー(幼児)は、6月13日に活動をしました。雨だったため、神戸の青少年科学館に行き各グループに分かれて館内をウォークラリーしながら、ロボットと遊んだり、たくさんのチャレンジをして新たな発見をたくさん感じて興味の分野が広がっていました。

ロビンフッド(小学生)は、6月20日に活動をしました。晴れだったため芦屋浜に行き磯遊びをしました。ヤドカリやカニ、魚がたくさんいて捕まえようと夢中に生き物と触れ合っていました。子ども達は自然と協力しあい楽しんでいました。生き物を捕まえられた時の顔はすばらしく輝いていました。いつも生活している街にたくさんの生き物がいることの発見や生き物の大切さや気持ちを考えながらたくさんの発見をしていました。

トムソーヤ(小学生)は、6月26日に活動をしま

した。今回のトムソーヤは、今までにない午後2時からスタートで夜に蛍を見に行こうと計画していたのですが、当日が雨だったので、西宮YMCAで夏祭りをしました。各グループに分かれてご飯やゲームの屋台をだして楽しみました。いろんな屋台にいけることで子ども達はいつもは関わっていないお友達と触れ合い、学年や性別を超えてみんなで楽しんでいました。各セクションに分かれて活動していますが、それぞれのメンバーのことを考えて素晴らしい例会ができたと思います。

全体では、リーダートレーニングとして芦屋浜でカヌー・カヤックの練習をして、メンバーと安全に安心して活動できるようにスキルアップをしました。これからも全員でメンバーのことを思いながら、たくさんの活動をしていきたいと思います。今後とも宜しく願いいたします。



西宮YMCA 三島浩司メン

神戸YMCAでは、今、キャンプをはじめ様々な夏のプログラムの募集を行っています。日本最高峰3776mを目指す「富士登山キャンプ」や本州最南端（潮岬）のサンゴの海で遊ぶ「本州最南端到達キャンプ」、瀬戸内海に浮かぶ家島での「フィッシングキャンプ」等々特徴的なキャンプから、幼児から参加できる「六甲山のキャンプ」や今年で第57回目となる「余島長期少年キャンプ」などを計画しています。この他、西宮YMCAでは日帰りでのプログラム「デイキャンプ」も計画しています。中でも、西宮YMCAが運営を担当する「いえしまフィッシングキャンプ」に向けて、リーダーたちは「フィッシング」の技術向上を図っています。参加の申込をしている子ども達の中には自分の釣り道具を持参する本格的な「太公望」も。ワイズの皆さまの中で釣り自慢の方がいらっしゃいましたら、是非リーダー達に手ほどきください。（可能な方は担当：大塚まで）

また、去年は新型インフルエンザの影響で中止になってしまいましたが、西宮市のぜんそく児キャンプが西宮市立山東自然の家から神戸YMCA余島キャンプ場に場所を移して実施されます。西宮市立用海・浜脇の両留守家庭児童育成センターの子ども達のキャンプや保育園の4・5歳児のキャンプも計画・準備中です。この夏のプログラムの一つ一つが神様に守り導かれ、参加する子ども達とリーダー達の心に残るものとなるように祈っています。

なお、夏の水のシーズンを前に、子ども達の安全を祈って、昨年のカーニバルの益金を活用し、西宮市立小学校の全5年生（約5000名）にYMCAの「ウォーターセーフティハンドブック2010」を配布させていただきました。

9月には恒例の「ファミリープログラム」も予定していますし、10月にはカーニバル、11月にはチャリティーランと大きなイベントが続きますが、ご支援よろしく願いいたします。

今後の予定

1) 第25回午餐会

3月のマザー・テレサ写真展でマザーの写真を撮られた片柳弘史神父をお招きし、マザー・テレサのお話を伺います。写真展をご覧になった方々も、また見逃された方々も奮ってご参加ください。

日時：7月10日(土) 12:00~14:00

場所：神戸YMCA 4階 サイコー亭

テーマ：「マザー・テレサは生きている

～小さなことに愛を込めて～」

講師：片柳弘史さん（カトリック六甲教会神父）

会費：1,500円（今年度から変更しています。）

*お申込は前もって、本部事務局までご連絡ください。

2) 第1回東部地域委員会

日時：7月12日(月) 18:30~20:30

場所：西宮YMCA 保育園3階ホール

3) 第2回学校法人理事会・評議員会

日時：8月25日(水) 18:00~20:00

場所：神戸YMCA 4階 サイコー亭

4) 第2回財団法人理事会・評議員会

日時：8月31日(火) 18:30~20:30

場所：神戸YMCA 4階 サイコー亭



西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン (保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより6月号より)

6月の主題：動き出す

4月より新しく入園した15名の子ども達、また、進級した子ども達も新しい環境にも随分慣れ、笑顔で遊び、生活する姿が多くなってきました。これから子ども達の本領発揮。新しいお友達や先生達との距離感もつかめ、どんどん新しい挑戦が始まっています。新しい遊びやお友達、先生達との関わり。子ども達の体も心もこれまでにないような動きをし始めています。この動き、挑戦の中には望ましいものに混ざって、時々いたずらやけんかといった望ましくないものも多く含まれます。けれども、この望ましくないものを含めた挑戦は、他者との適度な距離感やものの良し悪しを学ぶという点で、子ども達の成長にとっては欠かせないものです。子ども達の「育ちの力」を信じ、たまに顔を出す「望ましくないもの」も受け入れる大きな心を持って、子ども達と共に、私達大人も挑戦し、成長していければと思っています。

今から30年以上も前のことになりますが、我が家にかわいい一匹の子犬がやってきました。親戚から譲り受けた我が家にとってはじめての犬で名前を「ドナ」とつけました。とっても人懐っこいドナを家族全員でとってもかわいがっていました。我が家に来て数ヶ月経ったある日、さっきまで庭で遊んでいたドナの姿が突然見えなくなっていました。家族みんなで捜しましたがどこにもいません。やがて陽が傾き、いつもの夕食の時間になっても姿を現しません。誰かに連れ去られたか、事故にでもあったか……。その夜は、色々なことが頭をよぎりなかなか眠れませんでした。よく朝早く、ドナの鳴き声で目を覚ましました。「ドナが帰ってきた！」家族みんなが大慌てで庭に迎えに出ました。体の汚れ具合からすると、一晩中、近くの山の中を走りまわっていたようでした。「よく帰ってきたね！」家族みんながドナを奪い合い、抱き上げてほおずりをして無事に帰ってきてくれたことを喜びあいました。

神様は、私達一人一人をかけがえのない存在として愛してくださっています。この神様の愛は迷っているものにより多く注がれます。そして、見つけたときには多くに人と共に心から喜んでくださいます。このような愛に満ちた神様と共に歩めることを共に喜びたいと思います。

6月聖句：一緒に喜んでください。

(ルカによる福音書15章6節)

ワイズニュース 馬場 一郎 会長

1. 7月例会日程 (7月23日) 変更しています。ご注意ください。

2. 六甲部行事予定

①第1回評議会 日時:2010年7月17日(土)
14:00~18:00 (13:30~受付) 場所:三田YMCA会館 (JR, 神鉄三田駅西へ徒歩5分)

(16:00~ホテルメルクスで懇親) 会費:4千円

②部会 日時:2010年9月11日(土)13:30~受付
場所:神戸フルーツフラワーパークH 会費:7千円

水の流れるまはにぞり

(俳句) 山野 直行 (小野勅紘)

・^{いちりゅう}麦の秋 一粒死して 世の光

(聖書には一粒の麦は自分は死んで命はなくなってしまうが、一人の死が多く新しい命を息吹かせるという喩え話がある。麦にはそんな魅力が秘められている。ヴォーリーズ一粒社設計事務所は、ヴォーリーズがそんな願いを込めて命名したものだ。また夫人の旧姓一柳(ひとつやなぎ)を当てたとも言われている。)

・麦秋や モノクロ音声 小津世界

(麦秋というとモノクロ無声映画の時代から一世を風靡した小津安二郎の映画を思い浮かべる。そういったことから麦秋は日本の原風景か。)

・紫陽花の 人知れずして 咲き誇り

(梅雨時は不思議と紫陽花がよく合う。小雨そぼ降る片隅で端正に咲く花びら。紫陽花の花言葉は「冷淡」。何かあるうと人知れず只管咲く。しかしゆかにも寂しげな風情。そんな紫陽花を見て人恋しくなるのは私だけだろうか。)

編集後記 ブリテン委員長 廣瀬 一雄

今月号でブリテン担当を卒業です。

2010年の6月最後のお勤めですので次号からは山本メンにバトンタッチです。今後ともご愛読よろしくお願いたします。

今月の聖句は2009. 7月発行の西日本区報の鈴木誠也理事のメッセージに書かれていた原稿からの抜粋をさせていただきます。

新年度がスタートするにあたりその英文の一部も・

The ABC's of Y's Men's Club movement is club activities. From this viewpoint, it can be said that the presidency of the movement originates with the Club President (CP).